

施設見学会



帝国電機製作所の工場見学
で移動中の参加者



帝国電機製作所の説明風景

電気設備の関連施設や製造工場などの見学を行い、最新技術情報の習得を図るとともに、会員間の交流の促進を図ることを目的として、技術・安全委員会主催による施設見学会が開催されました。今年は㈱帝国電機製作所の工場見学と（財）高輝度光科学研究センターのスプリング8及び灘菊酒造㈱の工場見学を行いました。

平成22年10月7日（木）8時40分湊川神社正門前を出発し、途中 JR 姫路駅を経由して総勢27名がこの見学会に参加しました。

午前中は、たつの市の㈱帝国電機製作所を訪問しました。同社は技術開発型企业で主力商品のキャンドモータポンプを中心とした完全受注生産体制による高い技術力を持つポンプメーカーで、ビデオによる事業概要の説明の後、3班に分かれて工場見学をしました。



スプリング8で説明を聞く
参加者



スプリング8全体図



灘菊の見学風景

その後、上郡町光都内のレストランすみれ亭での昼食の後、午後1時から、（財）高輝度光科学センターが運営するスプリング8を訪問しました。DVDによる施設紹介があり、従事者500名、敷地面積141haで、年間の管理運営費は80億円、その内電気、ガス、水道使用料金が20億円との説明がありました。また、この施設は和歌山のカレー事件でヒ素の検出に威力を発揮したことや、見えない世界が見えるツールである等の説明がありました。その後スプリング8の施設を見学した後、バスで移動し、最近完成したエックス線自由電子レーザーを見学しました。

最後に、姫路市の灘菊酒造㈱に立ち寄り、製造過程見学と売店での試飲を楽しみ、見学会は和やかな雰囲気の中帰路につきました。

帰りの車中で行った参加者に対するアンケートでは、スケジュール的にも余裕があり、3施設とも有意義な見学対象であったと好評でした。